

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 15日		～ 令和 8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 15日		～ 令和 8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定されないように毎回工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のイベントや静と動の活動(遊び)を取り入れる等、いろいろな活動ができるように工夫をしている</li> <li>・活動の狙いが具体的になるように一人一人の支援内容についての振り返りに加え、朝礼等のミーティングで話し合う場をもっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムの立案については各担当スタッフが考えて実行しているが、相談・協力しやすい環境設定ができるようにミーティングや準備の時間を増やしていきたい</li> </ul>
2	個別対応による一人ひとりの状況に応じた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や資料回覧を用いて職員全員が共通の見方で児童の課題・状況を確認している</li> <li>・個別支援計画や支援内容の見直しが生じた際は、職員全員で話し合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付きの増加や特性・対応の理解が深められるように現状おこなっている研修に加えて必要性や希望に応じた研修が受講できるように努めていきたい</li> </ul>
3	保護者様との連携や情報共有 お子さまの課題について一緒に考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用後の連絡帳では狙い・内容などについて明確に記載するとともに活動風景の写真を添付することで、様子を可能な限りお伝えしている</li> <li>・通所日以外でも気軽に相談してもらえる環境が作れるようにSNSツールを活用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子さまの様子を具体的に伝えて共有していくことで、保護者様との信頼関係を深めていけるように努めていきたい</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数や送迎車の都合により、利用者様の希望通りに来所を受け入れる事ができない日があること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型の為、時間帯によっては送迎などで職員が手薄になってしまうので、安全にお願いできる環境作りを徹底している為</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規職員の入職や送迎車の増台など、利用枠(受け入れ枠)拡大に努め、可能な限り希望された日に療育を提供していきたい</li> </ul>
2	保護者様同士の交流の場が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の送迎を希望されない方はお迎えに来てくださるので、曜日限定で数名程度の交流はありますが、ほとんどの方が事業所による送迎を希望されているので会う機会や接点がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様方のニーズを調査し、希望があれば保護者会や相談会などの名目で交流の場を提供することを検討していきたい</li> </ul>
3	地域交流といった活動があまり充実できていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回、季節ごとのイベント(クリスマスや夏祭りなど)にて外出することはあるが、地域の活動をあまり把握できていないのが現状としてある為</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントに注目し、参加できる場や体験できるイベントを通して地域交流を増やせるように努めていきたい</li> </ul>